

学部案内 2026



創価大学 法学部

法律政治学科

あなただけの
多彩な学びを



法律や政治って、遠い世界？

実はあなたが想像する以上に、法律や政治は身近でおもしろいんです。

テレビの向こうの世界の話？ちょっとむずかしい？

法に関わる仕事をしたい人向け？学力が必要そう？

いやいや、そんなことはありません。

たとえば、惑星単位で政治をしたら？

まちを丸ごと運営したら？

平和のために世界でこれからすべきことは？

こういったことも、創価大学の法学部なら全部学べるんです。

気になったものを気になっただけ、

深く学んで自分の将来につなげるために。

私の未来は自由自在。

ひらけ、思考力と可能性。



法学部では、法律・法制度や、政治、政策を学ぶとともに、さまざまな法律問題や社会問題について、なぜ問題となるのか、どのように問題解決を図っていくべきかを検討し、より正義に適った、妥当な結論・解決方法を導くべく思考を重ねていきます。そのような専門的知識と論理的思考力は、将来、どのような分野で活躍するとしても基盤となる力です。

また、法学部生は、国内外の企業、法曹（弁護士、検察官、裁判官）、公務員の他、高い英語力と広い視野を培って世界で活躍す

るキャリアや、税理士、行政書士、宅地建物取引士、社会保険労務士などさまざまな資格を取得して社会で活躍するキャリアなど、多様な分野に羽ばたいていくことができます。

皆さんの夢の実現をサポートする多彩なプログラムがあり、専門性を高める講義や演習の他、実践力、応用力を磨くワークショップ、フィールドワークなどの科目が充実しています。

法学部での多様な学びを通じて社会正義の実現に寄与し、世界の平和に貢献できる人材へと成長していきましょう。

法学部長 教授 朝賀 広伸

創価からはじまる 学びの輪を。

法律、政治、ビジネスから国際関係や環境まで、
興味のある複数の専門領域を自由に組み合わせて学ぶことができます。
あなた独自の多彩な学びが待っています。

法律 × 政治

2026年度より「法律政治学科」として新しく誕生。
法律分野と政治・政策学分野の両面から
社会問題の解決に導くための思考力を養う体制を整備しました。



研究分野・ 担当科目

環境法、行政法

経歴

創価大学法学部卒業。
筑波大学大学院修士課程修了、明海大学大学院博士課程修了(博士)。
明治大学法科大学院教育補助講師、沖縄大学法経学部准教授・地域研究所副所長、同教授を経て現職。
東京都地下水対策検討委員会委員、埼玉県環境影響評価技術審議会会長、川崎市環境影響評価審議会会長。

主な著書

『環境法研究第20号』(信山社、2024年)、
『気候変動を巡る法政策』(信山社、2023年)、
『環境法研究第13号』(信山社、2021年)、
『環境法判例百選』(有斐閣、2018)、
『司法試験の問題と解説』(日本評論社、2017年-2020年)、
『最新の環境アセスメント法の動向と課題』(有斐閣、2015年)、
『演習ノート環境法』(法学書院、2010年) 他



CHECK!

海外とつながる法学部

多彩な国際プログラムで グローバルで活躍する人材へ。

法学部では、世界で活躍できる人材を育てるために、英語学習と海外留学に関する特別プログラムを用意しています。

学生のニーズに合わせて、短期、6か月、1年と、異なる海外体験を選べます。



Peace, Human Rights & Sustainability プログラム

All English で学ぶ「平和・人権・環境」

法学部のPeace, Human Rights & Sustainability (PHRS) プログラムは、平和問題、人権問題、環境問題などのテーマを掘り下げながら、多面的に英語力を身につけるプログラムです。PHRS プログラムで一年次からしっかりと取り組むことで、確実に英語運用能力が身につく、大成長できます。

詳しくはこちら▶

「英語で学べる授業」からチェック!



地球共生・平和創造プログラム(DEAPP)

Down to Earth and Peace Program

今日、人類は戦争や環境問題などの危機に直面する難しい状況に置かれています。この点を踏まえ、コース横断型プログラムであるDEAPPは、創価教育の生みの親・牧口常三郎先生『人生地理学』の基本コンセプトである人間と「地球／大地(Earth)」との関係(地人

相関性)を軸に、英語で表現し、英語で課題解決の方策を提示できる人材を育成するプログラムです。3～5セメスターで集中的に学ぶことで、卒業後に世界で活躍・展開するための学びの軸と、法学部独自の交換留学へ挑戦できる高い英語運用能力が身につきます。



独自交換留学制度



NEW!

オスロ大学交換留学制度

オスロ大学は1811年フレデリク王立大学として設立。1939年に現在のオスロ大学に改名されました。医学、法学、神学などの学部を有し、現在、約3万人の学生が学ぶノルウェーで最大規模の総合大学です。交換留学なのでオスロ大学に支払う学費は発生しません。政治学、経済学、心理学、社会人類学、社会・人文地理学、技術・イノベーション・文化、環境学など、幅広く魅力的な科目を選択して学ぶことができます。

留学体験エピソード



石井 博子さん
国際平和・外交コース 4年生
東京都出身

もともと政治・環境・ジェンダーの分野に関心があったため、それらの分野で先進的な取り組みを行っている北欧へ留学することを決め、語学習得に積極的に取り組んでいました。留学中、最も印象的だったのは「Chaos Politics」の授業。世界各国の政治課題や現状について学ぶ授業だったのですが、アジア圏の留学生が授業に私しかいないという状況で、最初はとても不安が大きかったことを覚えています。その授業を諦めずに受けきったこと、試験に合格し単位を取得できたことが、その後の留学生活への大きな自信となりました。現在は、関連分野での長期インターンシップと、大学院進学に向けた勉強の両立に取り組んでいます。

山田 詩音さん
国際平和・外交コース 4年生
東京都出身

小学生の頃から「グローバルに社会課題を解決する人になりたい」という想いを持っており、10カ月間の留学を経験しました。環境先進国のノルウェーでは、メディア・社会学・人類学など、さまざまな分野から環境問題を考えるカリキュラムがあり、幅広い視野を身につけることができました。また、生ごみがバイオ燃料に変換されてバスに使われるなど、生活の中での環境政策を肌で感じられたこともとても良かったです。休暇中には留学先で知り合った友人に招待してもらい、ドイツとイタリアの家庭で一生忘れられないクリスマスの思い出ができ、何にも代えられない生涯の宝物となりました。

ウォーリック大学との交換留学制度がスタート!

ウォーリック大学は英国、イングランドのウェスト・ミッドランズ州コヴェントリー市にある国立総合大学です。交換留学なのでウォーリック大学に支払う学費は発生しません。ウォーリック大学政治・国際関係学科(The Department of Politics & International Studies: PAIS)において、政治、国際関係、公共政策、経済など専門性の高い科目を選択して学ぶことができます。またPAISでは「持続可能な開発目標(SDGs)」に関わる独創的な科目も用意されており、学びの質がさらに充実していくことが期待されます。

留学体験エピソード



佐藤 壮城さん
国際平和・外交コース 4年生
埼玉県出身

中学・高校の頃から「英語を駆使して世界を舞台に活躍したい」という漠然とした想いがあり、英語カリキュラムが充実していることや多くの留学生と交流できること、学びたいと思っていた国際関係の学びが深められることから創価大学法学部に入学しました。留学のきっかけは日本を飛び出し世界に目を向けることで、視野を広げて新たな挑戦をしていきたいという想いからです。留学当初はたった一言の英文でもネイティブの発音が全く聞き取れず不安でしたが、学んでいく中で言語や文化の違いを乗り越え、学力だけでなく自分の精神面も鍛えることができたと感じています。将来は留学中に感じた「世界のギャップ」を解決するべく、日本だけでなく世界中の人々に貢献していきたいです。

スタディツアー 法学部海外短期研修制度

法学部独自の海外短期研修「アジア公共経営スタディツアー」は、アジア平和創造コースの基幹科目として、韓国やフィリピンなど発展著しいアジア諸国・地域で実施されます。変動期に直面したアジアの法と政治への深い理解を通じ、「アジアの世紀」に活躍できる問題解決型の次世代リーダーを養成します。アジアへの留学、アジア駐在・就職などをを目指す学生、アジアからの留学生にオススメです。2024年度は「フィリピンで学ぶ<戦争の記憶と平和>」をテーマに、法学部生約20名が参加しました。フィリピン名門大学での研修、フィリピン戦跡の視察のほか、JICAフィリピン事務所やADB(アジア開発銀行)での研修、スラム街、グローバル都市などの視察を行いました。



法学・政治学を身につけて、 未来を具体的にデザインする。

マンガ動画で
解説!



カリキュラム
概要



6コース
紹介

創価大学法学部では、法学と政治学の両面から基本となる知識を学んだのち、

2年次から自身の関心や興味のある分野・テーマを選んで深める専門的なコースへと進みます。

叶えたい夢に向け、さまざまな経験を積みながら

自身の未来をつくりあげていくためのカリキュラムが充実しています。

基本科目
(1年次)

専門科目
(2～4年次)

- 法学
政治学
入門
- 憲法
- 民法
- テーマ
ゼミ

法律、政治、
社会の
仕組みを
自由に学び、
深める



1年次

多様な学びの基礎となる
知識を身につける

2～4年次

興味関心に合わせた
専門コースを選択(複数選択可)
ゼミやフィールドワーク、ワークショップなどで
実践的に学び、キャリアへつなげる

卒業後

キャリアを実現し、
自分の道を歩み出す

国際
プログラム

- 交換留学
(オスロ大学・
ウォーリック大学)
- PHRS
- DEAPP

P03

キャリア
プログラム

- GLP(法曹コース)
- 公務員・外交官特修
プログラム

P19

探究実践型
プログラム

- フィールドワーク
- インターンシップ
- ワークショップ

ダブルコース制ってどういう学び方?

ダブル
コース制
とは

希望者は2つのコースを選択できるダブル
コース制を採用しています。1年生の時に必修
科目や教養科目を基礎から学び、2年次以降は
自分の興味や将来像に合わせてさまざまな学
びを得ることができます。

市民生活・
ビジネス法



環境・
サステナビリティ



企業の
持続可能な成長を
推進する人材!

2つのコースを掛け合わせると、「環境(Environment)・
社会(Social)・企業統治(ガバナンス Governance)」
の視点に立った学びが可能です。企業が持続的に成
長するためには、ESGが新たな指標となっています。
たとえば、企業の気候変動対策と持続可能な生産・消
費、働き方の改善や環境情報の開示と公正透明な企業
活動のあり方等に焦点を当てて学びを深められます。

リーガル



公共政策・
行政



公共の課題解決の
スペシャリスト!

法律と政策は表裏一体で、どちらも社会課題の解
決を目指しています。公共政策・行政コースで政策
立案の能力を、リーガルコースで法律解釈の能力
を身につけることで、私たちの社会が直面するさ
まざまな課題を解決するための制度や仕組みを考
える力を養うことができ、社会貢献のキャリアにつ
ながります。

国際平和・
外交



アジア
平和創造



世界とアジアで
活躍できる
平和リーダーへ!

グローバルな視野とアジアの文脈から相関的かつ
総合的に学び、より実践的な課題解決力を身につ
けます。法律と政治・政策を武器に、変動期に直面
した世界とアジアの平和に貢献できる問題解決型
のグローバルリーダーを目指します。

市民生活・ ビジネス法コース

市民生活を安心安全に送るための
法知識の修得と、
優秀なビジネスパーソンになるための
法律・ビジネス知識を修得します。

「市民生活のための法務」では、トラブルに対する法的解決力やトラブルを未然に防ぐための予防法務としての法的知識など、市民生活に必要な法律の知識修得を目指します。また、ビジネス法務では、法的思考に基づく問題処理能力の獲得やコンプライアンス意識の定着と向上など、ビジネスパーソンとして身につけるべき法的および経営学的な基礎知識・専門知識の修得を目指します。さらにビジネス実務法務検定をはじめとした必要な資格取得に関するサポートも行っています。





市民生活・
ビジネス法コース 3年生

山下 恵梨華さん
大阪府出身

Student's Voice

将来の選択肢を広げ

キャリアへとつなげてくれるコースです。

さまざまな職業について知りたいと考え、幅広い就職先が選択できる市民生活・ビジネス法コースを選択しました。本コースでは、どの職種でも必要となるビジネスの基礎知識がつけられるとともに、多角的な観点から企業を知ることができます。なりたい職業がまだ定まっていない方、将来の選択肢を広げたいと考えている方にはぜひこのコースをおすすめしたいです。

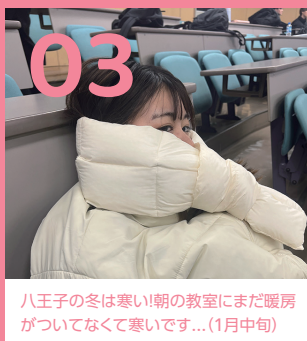
マイキャンパスライフ



好きな食堂メニューは唐揚げ丼です!
どれだけ食べても飽きない!!



毎朝自然いっぱいの校内を歩いて授
業に向かいます!



八王子の冬は寒い!朝の教室にまだ暖房
がついてなくて寒いです...(1月中旬)



本部棟から見える景色!夕方になると
幻想的で今日も頑張ったと思えます!!

Pickup授業

労働法

岡部 史信教授



労働法は、とても身近な法律ですが、正しく理解できている人は多くありません。それはハラスメントや不当解雇などのニュースが連日報道されていることから明らかです。そのため、働く人は自分を守るための知識を持つことが重要であり、また会社側も有能な人材を確保して活かすには人的資源を大切に扱えることがカギになります。本講義では、そうした労働法の基礎理論と今日的な諸問題について一緒に考えます。

ビジネス&ロー・ワークショップⅡ

朝賀 広伸教授



「世界を変える企業を探せ!」をテーマに、学生主体+グループワークを通じて学ぶ産学連携の課題解決型授業です。「野村證券の支店長講義」「社会人メンターのサポート」「実務家とのワークショップ」「研究発表会」「アジア開発銀行専門官の特別講義」など、ESG*とSDGs、世界の今後から日経新聞の読み方のコツまで、授業の内容は盛りだくさん。最新の知識と企業分析スキルを身につけるとともに対人能力の獲得も目指します。

※ESG:「環境(Environment)・社会(Social)・企業統治(Governance)」

ファイナンシャルプランナー入門

松田 佳久教授



講義では、金融機関への就職活動および就職後の実務にも必要となるファイナンシャル・プランナー(FP)に合格するための知識を身につけます。FPは年金、税金、生命保険、損害保険、不動産、相続、金融商品など幅広い分野に関わるため、自分の人生においても大いに役立つ資格です。FP試験の特に学科試験に焦点を当て、実際の学科試験問題に多く取り組む形で学習しながら、まずはFP3級の合格を目指します。

カリキュラム例

2年次

・ビジネス&ロー・ワークショップⅠ ・労働法 ・刑法各論 ・親族・相続法

3・4年次

・債権各論 ・消費者法 ・社会保障法 ・市民社会・ビジネス法インターンシップA・B

公共政策・ 行政コース



政策課題や社会の公共的課題を見つめ、
演習と実践を交えながら
解決するための手法と
思考力を養います。

「正解のない問題」に取り組む際に必要となる課題発見能力と問題解決能力を身につけることができるコースです。「法律系」と「政治政策系」の2つの系統からカリキュラムが構成されており、両方の専門領域を関連づけながら学ぶことにより、公共政策の総合的な理解を促します。また、八王子市と連携したフィールドワーク、インターンシップ、探究型のワークショップなどを通じて実践形式でリアルな学びを深めることができるのが魅力です。





公共政策・行政コース 3年生

志賀 春奈さん
宮城県出身

Student's Voice

社会へ直結する

実践的なスキルと知識が身につきます。

公務員を目指すために必要な専門的な知識を修得できるだけでなく、グループワーク型の政策研究を行う機会が豊富にある点が魅力的なコースです。少人数のグループでのディスカッションや協働学習を通じて、コミュニケーション能力やチームワークの重要性も学べます。また、社会で活躍されている専門家からフィードバックを受け取る機会も多く、キャリアに対する具体的なビジョンを描くことができます。

マイキャンパスライフ



GCP*フィリピン研修でGCPの仲間たちと



GCPフィリピン研修でプレゼン



ゼミ(演習)でのひとコマ



まちづくり八王子フィールドワークでの学び!

*GCP:学部横断型プログラム「グローバル・シティズンシップ・プログラム」

Pickup授業

まちづくり八王子フィールドワーク 和足 憲明准教授



キャンパスがある八王子市の全面協力のもと、フィールドワーク(現地調査)によって地域社会を観察することで、直面している政策課題を発見し、その解決策を市側に提案します。毎年、子育て支援、中心市街地の活性化など多彩なテーマを取り上げており、まさに「まちづくり」をリアルに体験できる授業です。こうした探究型学習の実践に取り組むことを通じて、公共政策について、より具体的に学ぶことができます。

公共政策論 土井 美徳教授



私たちの社会は大きな転換期にあります。これまでの仕組みが問い直しを受け、多くの政策分野で新たな制度設計が求められています。直面するさまざまな課題について、政治学と法学を駆使しながら、「正解のない問題」についてその解決策を考えるのが公共政策論です。SDGsの17の目標すべてが公共政策の対象となります。未来の「社会実装」を考え、創造する最先端の学問領域です。

公共政策ワークショップ 土井 美徳教授・和足 憲明准教授



チームでの協働学習を通じて、問題を自分たちで探究するグループプロジェクト型の授業です。地方創生まちづくり、子育て支援や女性の活躍、高齢者が輝ける社会、観光と地域経済、災害と危機管理など、現代社会が抱える政策課題についてグループ研究を行い、そこに公共政策の最前線で活躍する実務家たちを招致します。理論と実践を掛け合わせたリアルな学びで即戦力の実力が養えます。

カリキュラム例

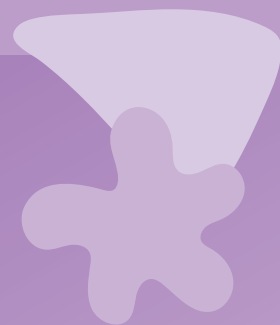
2年次

•公共政策論 •社会分析スキル •政治学原論 •行政学 •公共政策ワークショップA

3・4年次

•地域コミュニティ論 •地方自治論 •社会保障政策論 •公共政策ワークショップB •公共政策チュートリアル
•政治学史 •日本政治外交史 •アジア都市協力論 •環境政治行政学 •防災政策論

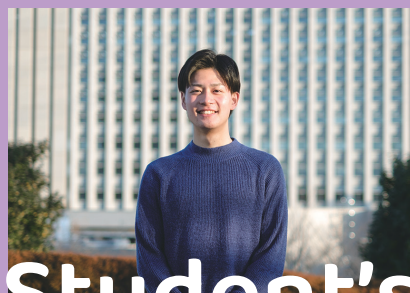
国際平和・ 外交コース



地球的課題の解決に貢献する
グローバルリーダーとして、
平和問題に関する高い専門知識と
語学力を身につけます。

「人間の安全保障」を理念として、「平和」「人権」「環境」「開発」の4分野と多様なアクターを軸とした国際問題に対する幅広い専門知識を修得します。地球的諸問題の解決に必要なグローバルな視野と世界市民としての人権感覚を磨くべく、理論と実践双方の視点からワークショップやフィールドワークも取り入れ、学びのサイクルを展開していきます。さらに国際社会での活躍を見据え、All Englishでの授業にもチャレンジします。





国際平和・
外交コース 3年生

京野 和孝さん
東京都出身

Student's Voice

グローバルな目線で学びながら
世界中の方々と交流できます。

国際平和・外交コースは地球規模の課題や国際問題についての専門的な科目が多く、国際感覚やグローバルなビジョンを養うことができます。All English科目も充実しているため、英語で留学生と国際問題について議論する、といった交流の機会が数多く用意されています。キャリアパスとしての留学も推奨されているので、国際的な場での活躍を目指している方はぜひチャレンジしてみてください!

マイキャンパスライフ



充実の交換留学(オランダ)



オランダの国花チューリップ。現地で見ると本当に綺麗です!



GCP*の友人たちと



留学先のラドバウド大学

*GCP:学部横断型プログラム「グローバル・シティズンシップ・プログラム」

Pickup授業

国際法各論 中山 雅司教授



国際法は国際社会の法で、条約や慣習国際法などを指します。難しいイメージを持つかもしれませんが、とても魅力的で面白い分野です。第1にダイナミックな法で、領土や海や空、宇宙のルールまで国際法が決めています。第2に、紛争や人権、気候変動など地球的課題の解決と平和に不可欠な道具です。第3に国内法と比べると未熟な法もありますが、逆に法とは何か、世界とは何かを考えさせてくれます。

International Relations ウルヴ ハンセン准教授



International Relationsの授業では、国際レベルで各国がどのように相互作用しているかについて学ぶとともに、国益や国家アイデンティティが、どのように国家間の緊張を生み出すかについても学びます。特に、このような緊張を緩和するために作られた国際機関、経済協力、共通規範などのメカニズムについて学ぶことも大きな特色です。一緒に世界平和を構築するための道を探ってみましょう。

人間の安全保障論 中山 雅司教授



世界は戦争や貧困、人権、環境など諸課題を抱え、自国中心主義による対立と分断が深まっています。国家の役割や安全保障が問われる中、人間の生存、生活、尊厳に立った新たな安全保障概念として、冷戦後に国連を中心に登場したのが「人間の安全保障」です。「人類の平和を守るフォートレスたれ」との建学の精神にもとづき、あらためて「平和」とは何かについて考えてみたいと思います。

カリキュラム例

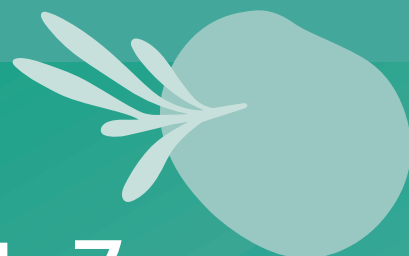
2年次

•人間の安全保障論 •国際法総論・各論 •人間の安全保障ワークショップ •平和学 •Global Issues

3・4年次

•国際機構論 •国際関係史 •日本政治外交史 •国際開発協力論 •Peace Studies
•International Relations •International Human Rights •Security Studies
•グローバル企業論 •地球市民社会論

環境・ サステナビリティコース



これからの循環共生型社会を
実現するために、
地球規模の課題に対して
法と政策の観点から学びます。

法や政策はもちろん、「環境を守りながら社会全体が発展し、心の豊かさも重視した社会」の実現に向けた知識や思考力、問題解決能力を身につけるコースです。さらにコミュニケーション能力をはじめ、共生を意識し多様性を受容できる力と他者と協働できる力の修得を目指します。また、実践型プログラムを多く取り入れ、実践的な学びを主体として、SDGsを応用展開できる人材を育成していきます。





環境・
サステナビリティコース
4年生

富沢 彩花さん
埼玉県出身

Student's Voice

法と政策の両方からアプローチして 持続可能な地球の未来を考える。

フィールドワークなどの体験学習を通じて環境問題に対する課題解決力を磨くことができる点に魅力を感じ、このコースを選びました。また、環境を守るために必要な法律知識を身につけ、政策の評価方法、政治と行政の関係性、環境を軸とした国際協調の推進や国益と人類の福祉についても学ぶことができます。私たち一人ひとりの環境意識と行動が、地域社会や企業の取組み、さらに地球全体の未来につながっていることを感じています。

マイキャンパスライフ



ゼミのみんなと学食



空きコマに友達と東京富士美術館で芸術鑑賞&レストランでランチ



大好きな友達と!韓国文化、K-POP、韓国旅行の計画を立てながら楽しくトーク!



本部棟13Fで勉強

Pickup授業

環境法 朝賀 広伸教授



「地球は先祖から受け継いでいるのではない、子どもたちから借りたもの」(サン・テグジュペリの言葉)。環境法は現在と将来世代のために、環境保全上の支障を防止し、良好な環境の確保を図ることを目的とする法制度です。講義では地球温暖化防止法制、循環型社会と廃棄物・リサイクル、自然環境保全その他環境に関する法制度を学びます。明日なすべきことを今取り組むことで、地球環境を保全し次世代に継承していけると考えます。

惑星政治学 前田 幸男教授



惑星政治学は、国家の生存戦略を重視してきた国際政治学が人類の絶滅可能性を直視できていないという問題意識から、「地球」との関係で「人間」を捉え直す新しい学問です。「人新世」に突入した現在、人類は、生態系との関係抜きで生存を論じることはできません。頻発する自然災害は、人類が地球に対して行ってきた「戦争」への反撃であり、早急に自然との共生を実現する必要があります。

地球共生・平和創造フィールドワーク 前田 幸男教授



この授業では、「人間と「地球／大地」との関係を、キャンパスや里山の大地の再生実践を通じて考察。土の手入れを行いながら、水はけや通気性を改善させ、土が単なる物質ではなく、生き物の関係性の網の目でできていることを体感していきます。つまりは、人間は大地の再生に関わっていけることを身体感覚で学び、希望を見出していく授業といえます。日ごろの座学で力チカチに固まった思考を解きほぐしましょう。

カリキュラム例

2年次

•行政法総論 •国際人権法 •行政学 •惑星政治学 •地球共生・平和創造フィールドワーク

3・4年次

•環境法 •水法演習 •環境政治行政学 •国際開発協力論 •Environmental Law
•環境マネジメント •環境経済論 •環境教育論 •現代文化人類学 •アジア都市協力論

リーガルコース



社会生活のさまざまな場面で起こる
法的紛争の解決に携わるために、
法律の専門的知識を体系的に
身につけます。

法律に関するプロフェSSIONナルを目指すコースです。基本科目となる「憲法」「民法」「刑法」「会社法(商法)」「行政法」「民事訴訟法」「刑事訴訟法」を中心に、それぞれの法領域で各法制度がどのように関係し、正義の実現が図られているのかを体系的に整理して理解・修得します。また、法務演習などで行われる事例問題や判例研究を通じて実例に触れながら解決法を検討し、法適用や諸制度の運用をめぐる課題解決に取り組むことで社会に通用する応用力も養っていきます。





リーガルコース
2025年3月卒業
コンサルティング会社就職

高瀬 啓秀さん
神奈川県出身

Student's Voice

法の知識を身につけることで
他分野の学びはさらに面白くなります。

教養としてビジネスに関係する法律を知っておきたいという気持ちからリーガルコースを選択しました。4年間法律の勉強だけかというのではなく、興味のわいた他の分野を学ぶこともできます。法律を通じて他分野を勉強することで、一歩違った視点からの学びを得ることができます。また、実際に法律が使われている場面を知れる面白さも、本コースの魅力だと感じています。

マイキャンパスライフ



最後の部活帰りの様子



留学先の寮で麺からこねてあのラーメンを手作り!



就職支援スタッフの同期たちと記念に



英語勉強教材(紙)

Pickup授業

刑法総論/刑法各論
船橋 亜希子講師



刑法は、どのような行為が犯罪となり、それにどのような刑罰が科せられるべきかを学び、考えます。1年秋の「刑法総論」は犯罪に共通する重要な事項を、2年春の「刑法各論」は犯罪ごとの成立要件を学び、高い専門的知識と論理的思考力を身につけます。2年秋以降は、刑法ゼミや関連科目の「刑事訴訟法」「刑事司法と医療・心理・福祉の連携」(2026年度開講予定)を履修することで学びを深めることができます。

憲法人権論
上田 宏和講師



日本国憲法の人権規定は、抽象的な文言で書かれているため、その内容を見極めるには「解釈」が必要です。講義では、各人権内容に関する学説と重要判例に見られるさまざまな「解釈」を適切に理解することに重点を置きます。そして、日本国憲法の人権保障に関する基本的知識と判例法理を理解し、これらをアウトプットすることを通じて、憲法的な思考力の基礎を修得することを到達点とします。

民法総則
三宅 利昌准教授



民法は、私人間の権利義務関係について定めた法律で、総則、物権、債権、親族、相続の5編から成り立っています。その中でも民法総則は、主として物権や債権といった財産法に共通するルールを定めています。民法を学ぶうえで大切なことは、条文の背景にある制度趣旨を理解することです。条文の目的や趣旨を考えながら、何度か繰り返して学習していくうちに知識が定着していきます。

カリキュラム例

2年次

•物権法 •刑法各論 •債権総論 •親族相続法 •商法

3・4年次

•債権各論 •民事訴訟法 •刑事訴訟法 •会社法概論 •刑事司法と医療・心理・福祉の連携
•司法・犯罪心理学 •民事救済手続法 •憲法法務演習 •民法法務演習Ⅱ •会社法法務演習

アジア平和 創造コース



アジアの諸問題を解決するための
探究心や構想力、実践力を養うために
アジア研究と公共経営という
2つの視点から学びます。

変動期に直面しているアジアの法と政治についての深い理解を通じ、「アジアの世紀」に活躍できる問題解決型の次世代リーダーを育成するためのコースです。「構造・主体」「歴史・思想」「政策・実践」の3つの観点を踏まえ、総合的に基礎から応用まで学習できます。創価大学平和問題研究所（アジア平和・公共性研究センター）やアジア開発銀行（ADB）、他大学をはじめとした外部機関とも連携した研究・教育・実践融合型のプロジェクトも取り扱っています。





アジア平和
創造コース 3年生

川口 凜香さん
神奈川県出身

Student's Voice

不条理な現実を目を向けて
行動を起こしたいと考えている方に。

実際に起きている問題を学外の専門家が解説して下さるオムニバス講義や、フィリピンや韓国で現地を周り、関係者から直接お話を聞く海外スタディツアーなど、実践的な学びが数多く用意されていることがアジア平和創造コースの特徴です。私は将来、報道に関わる職に就きたいと考えており、スタディツアーでお話を伺った経験が今後の人生の基盤になると確信しています。

マイキャンパスライフ



友人とグランカフェで勉強会



韓国スタディツアーの写真



GCP*成果報告会終了後にグループの仲間と記念に



残寮生を務めている留学生の退寮式でのユニットメンバーと

*GCP:学部横断型プログラム「グローバル・シティズンシップ・プログラム」

Pickup授業

アジア公共経営特論

中山 賢司准教授 / ウルヴ ハンセン准教授



分断と停滞のアジアに対し、共生／協生を基本理念に据えた「アジアの世紀」をいかに構築すべきか。この問いに対し、法学・政治学を中心に、歴史学・社会学・経済学の知見も加味しつつ、学際性と総合性を同時に探究したオムニバス講座を、ユーラシア財団from Asiaの助成を得て提供します。国内外の第一線の専門家を招致し、アジアの諸問題を解決するための構想力や実践力を養います。

アジア法

飯田 順三教授



地理的に「アジア」はどこを指すのでしょうか。日本を含めた東アジアから西方にトルコあたりまでがアジアと呼ばれています。「アジア法」とは、この広大なアジア地域の各国の法制度と法文化の総体を指す言葉であり、アジアに共通する法ないし法律を意味するわけではありません。本講義の総論では、アジア法を学ぶための方法論と研究史を学びます。各論では個別の国ごとに、その文化と法制度について概観します。

アジア都市協力論

中山 賢司准教授



近年、都市や自治体、地域といったサブ・ナショナル(準国家)単位の機能が強まりつつあります。通常の状態を超える規模で経済的・政治的・文化的影響力を持つグローバル都市が出現したほか、都市や自治体が国境を超えて課題解決のために連携・協力するようになっています。本講義では、こうした都市協力をめぐる理論と事例を学ぶとともに、横浜市や民間企業などの実務者を招いて現場の経験を学びます。

カリキュラム例

2年次

- アジア公共経営入門 • アジア公共経営スタディツアー • アジア公共経営特論 • 国際関係史
- Asian Studies in International Law Perspective

3・4年次

- アジア法 • アジア都市協力論 • 東南アジア研究 • 日本政治外交史 • Global Public Policy
- 法史学(日本法史) • 国際開発協力論 • グローバル企業論 • 日本政治思想史 • Border Politics



キャリアプランに合わせ、 より専門的に学びを深める。



Global Lawyers Program (法曹コース)

2020年2月に文部科学省から「法曹コース(連携法曹基礎課程)」と認定されています。このコースは弁護士や裁判官、検察官のような法曹(法律家)を目指して、創価大学法科大学院(ロースクール)の既修者コース等に進学することに特化した少人数教育プログラムです。国際的に活躍する法律家に求められる知識と能力を修得することによって、国際的視野に立って鋭敏な人権感覚を持ち、問題解決のために法を活かして行動できる法律家を育成します。

法律教育センターとの連携

Global Lawyers Program は、本プログラム修了者を中心とした本学卒業生の弁護士たちを招聘し、外部講師として構成する法律教育センターと連動しています。たとえば、GLPチュートリアルⅠ・Ⅱ・Ⅲは、法律教育センターの1年生講義を受講していることを前提に、講師の

弁護士たちによるアウトプット中心の授業が行われます。授業だけでなく、現役弁護士の先輩方から弁護士実務を聞ける貴重な機会でもあり、本プログラムの学生は、法律教育センターに登録し、1年生講義を受講することが求められます。



Graduate's Voice

座学と実践の両面から 高いレベルの学びが実現します。

GLPの講義科目はレベルの高い授業で基礎を網羅的に固めてくれるため、創価大学法科大学院の司法試験合格率の高さに直結しています。また、思考力を鍛える演習科目や、本学出身の弁護士の方々が旧司法試験の過去問を使って講義する週1~2回の授業では、司法試験を見据えた実践的な学びが叶います。私には裁判官になるという夢があります。夢の実現に向け、これからも創価大学法科大学院で勉学に励んでいきます。

リーガルコース 2025年3月卒業 法科大学院 1年
宮前 翼さん

法科大学院 (ロースクール)

徹底した少人数教育で、一人ひとりの学生にきめ細かな学修指導を実施しています。15名程度の少人数制による演習中心の授業が特徴で、豊富な研究実績を有する研究者教員と、経験豊かな実務家教員をバランスよく配し、双方向・多方向の討論を通じ専門的な法知識を修得

しつつ、実務法曹として不可欠な能力を養成していきます。学修に専念できる環境・施設で、自習室は24時間利用可能です。奨学金制度も充実しています。法科大学院開設から令和6年までの司法試験累計合格率は49.4%であり、高い実績を誇っています。

志望するキャリアに特化し、夢への第一歩を目指すプログラムです。
創価大学法学部では、法曹に特化した「Global Lawyers Program (法曹コース)」と
公務員採用に特化した「公務員・外交官特修プログラム」をそれぞれ用意しています。

公務員・外交官特修プログラム

公務員志望の学生のための特修プログラムです。公共政策の最前線でさまざまな国際問題や社会問題、政策課題を解決して、人と社会と世界に貢献し「未来をつくる」ことのできるキャリア開発を目的とし、外交官や国際機関職員、国家公務員(省庁)や地方公務員(都道府県庁・政令指定都市・市役所)の行政職、国税専門官や裁判所事務官、労働基準監督官といった専門職、消防や警察をはじめとした公安職など、多様な公務員のキャリアに対応します。また、公務員採用試験の対策にとどまらず、社会の第一線で活躍することのできる能力と資質を養います。

実践力を養い、第一線で活躍する人材へ

外部機関と連携したフィールドワークや公共政策の最前線で活躍する実務家(国際機関・国家公務員・地方公務員)を政策課題ごとに招致したワークショップなど、政策現場のリアルを学べる授業をベースに、「公共政策チュートリアル」の形で、政策論文、プレゼンやグループディスカッション、面接などで活かせる実力を養います。合格した4年生から



なるPSS(パブリックサポートスタッフ)、プログラム出身の卒業生による公務員ゼミなど、サポート体制も充実しています。筆記試験の対策として大手予備校と連携した学内講座も設置。外交官や国際機関職員、国家・地方公務員など、数多くの卒業生を輩出しています。



Graduate's Voice

チームでの議論を通じて社会課題解決に向けたアプローチを深く考えることができました。

公務員・外交官特修プログラムでは、ひとつの自治体をテーマに課題分析や解決策提示を行う「自治体研究」、就労支援や子育て支援を横断的に学ぶ「公共政策ワークショップ」などに参加しました。また、実務家の方からお話を聞く貴重な機会もあります。卒業後は文部科学省に入省し、教育や文化体験の格差の改善に取り組んでいます。生活の現場とは少し離れた場所での仕事になりますが、人との関わりのリアリティを大切にしながら頑張りたいです。

公共政策・行政コース 2025年3月卒業 国家公務員
中村 舞人さん

過去5年間の 主な合格先

- 【国際系】 国際連合児童基金(UNICEF)、世界銀行、国際協力機構(JICA)、外務省専門職、日本赤十字社 他
- 【国家公務員】 厚生労働省、文部科学省、法務省、総務省、林野庁、東京税関 他
- 【国家専門職】 労働基準監督官、国税専門官、裁判所事務官、防衛省専門職
- 【地方公務員】 東京都庁、千葉県庁、茨城県庁、福井県庁、大阪府庁、奈良県庁、和歌山県庁、山口県庁、横浜市役所、相模原市役所、さいたま市役所、静岡市役所、東京特別区、八王子市役所、東京消防庁 他多数

進路実績

卒業後の進路は幅広く、国家・地方公務員や外交官、法曹界から金融、コンサル、メーカー、建設、マスメディアまで多岐にわたります。また、司法試験をはじめとし、各種試験に合格者を輩出しています。

主な就職先・進学先一覧

(2022～2023年度実績)

卒業後の進路	
就職者	進学
364 名	59 名

就職先

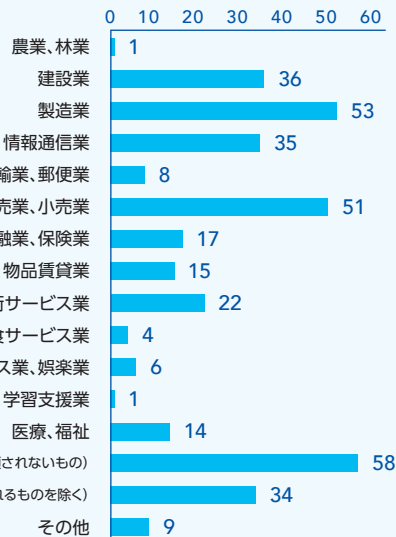
民間企業

アクセンチュア株式会社
アマゾンジャパン合同会社
株式会社キーエンス
株式会社時事通信社
株式会社東芝
TOPPAN株式会社
凸版印刷株式会社
日本アイ・ピー・エム株式会社

日本通運株式会社
P&Gジャパン合同会社
PwCコンサルティング合同会社
富士通株式会社
株式会社みずほ銀行
三菱電機株式会社
株式会社読売新聞東京本社

国家公務員・地方公務員

外務省専門職
厚生労働省
国税専門官、裁判所事務官
東京都庁
千葉県庁
東京特別区
他



進学先

京都大学大学院
創価大学大学院
創価大学法科大学院

名古屋大学大学院
鳴門教育大学大学院
広島大学大学院

エセックス大学大学院
オース大学大学院

ゲルフ大学大学院
サセックス大学大学院

サービス業 (他に分類されないもの)
公務 (他に分類されるものを除く)
その他

卒業生Voice!



2019年度卒業
国際協力機構 (JICA) 総合職

塩田 貴子さん

世界中の方々と
協調していくために
必要なマインドを学びました。

創価大学で学んだのは、目の前のひとりを尊敬し対話する姿勢。国や文化を超えて交渉を進めるためには非常に重要であり、世界中のプロジェクトを扱う今の仕事にも活かしていると感じています。「世界を舞台に活躍したい」という漠然とした希望を抱いて入学しましたが、法学部での学び、留学先での経験、活躍する先輩からの励まし、切磋琢磨し合える同期との出会いを通じて、目標が段々と明確になっていきました。先輩・後輩のつながりを大切にすることも創価大学の良さのひとつ。いつかお会いできることを楽しみにしています。

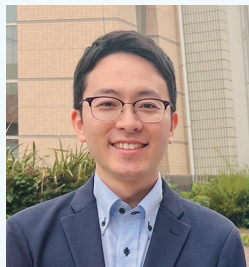


2013年度卒業
株式会社三井住友銀行 総合職

林 光明さん

コミュニケーション力と
論理的思考力を鍛えてくれた
法学部での学び。

カナダ留学でインターンシップを経験したことがきっかけで、海外展開する日系企業に関わる仕事に就きたいと考えようになりました。現在はメガバンクの国際部門に所属し、香港支店で約250社の企業を担当しています。香港のメンバーとチームで結果を残すことが求められる今の職場では、留学で経験した異文化コミュニケーションが非常に役立ちました。法学部は1年次からキャリア支援が手厚く、4年間勉強に集中できる学部です。魅力的で個性的な教授の方が多いので、充実した学生生活を送れると思います。



2013年度卒業
国家公務員 (外務省)

牛田 貴広さん

語学や国際法の
スペシャリストになるために
私を育ててくれた場所。

社会の仕組みや国際社会のルールに関心を持って入った法学部。大学OBの方々と交流を重ねるうち、日本代表として他国との交渉に携われる外務省の仕事に魅力を感じるようになりました。法学部で自分の意見をロジカルに説明する訓練を重ねたことが限られた時間や紙幅で確に外交政策を伝える力となり、今に活かしていると感じています。大学時代の学びは、社会へ、世界へ、自らの視野を大きく広げるものです。皆さんの可能性は無限大です。創価大学で学び、ご自身のフィールドで大いに活躍されるよう、心から健闘を祈っています。



2021年度卒業
TOPPAN株式会社 総合職

福島 さんごさん

ゼミ活動と留学を通じて、
本当に大切にしたいと思えるものを
見つけることができました。

可能な限りあらゆる価値観や意見を包摂しながら皆の満足度を向上させていく、そして自身のやりたいことも実現していく、そんな「バランス感覚」を養ってくれたのが法学部でのゼミ活動でした。大学生生活には皆さんが今は想像もできない未来が詰まっています、それら全てが、いつか振り返った時に人生最高の宝物になると思います。創価大学法学部にはキラキラした瞬間を全力でサポートしてくれる最高の先生方や仲間がいます。地に足をつけて自分の根っこを張り、人生を「自らの力で豊かにしていく」力をつけることができる場所です。



STUDENT SURVEY 学生アンケート

Question

創価大学法学部は
どんな方に
おすすめですか?

1



社会の仕組みを
ルールから学びたい人、
論理的思考力を養いたい人

将来誰かの
役に立ちたい人は、
法学以外も学べるので
ぴったりかも!

Question

所属コースで、
高校生に知ってほしい授業は
何ですか?

2



やりたいことが
明確になっていない人こそ、
色々なキャリアを
考えられるのでおすすめ!

法学や政治だけでなく、
社会問題など
多角的な視点から学びたい人

平和について徹底的に学べる
大学は数少ないので
「平和学」はぜひ
履修してほしいです!

実践的な学びが得られる
「まちづくり八王子フィールドワーク」は
毎回ワクワクします!

「惑星政治学」は今まで
考えたこともない視点から
物事を見て学べるので
面白いです!

「労働法」はアルバイト中も
社会に出てからも
役立つ知識がたくさん!

市民生活・ビジネスコース学生

友達とともに学び、お互いに授業
の内容を理解し合える時にすごく
楽しくなれます!

キレイな専用施設があるところ!
勉強するときにテンションが
上がります!

公共政策・行政コース学生

友達も先生方もみんなやさしく、困った時
は相談に乗ってくれたり、分からないことを
丁寧に教えてくれるところがとにかく好き
です!

アジア平和創造コース学生

ゼミも活発で勉強も楽しみながら、
放課後は部活やサークルでオン・オフ
充実した時間が過ごせる場所がおす
めです!

環境・サステナビリティコース学生

Question

創価大学法学部の
押しポイントを
教えてください。

3



リーガルコース学生

法学部といっても色々なコースがあり、興味
のある学びたいことをとことん学べる場所!



進路サポートが手厚い!就職から大学院進学、
国家試験対策など、一人じゃ難しいことにも
手を差し伸べてもらえます!

国際平和・外交コース学生



6つの学びの特長

1

**法学と政治・政策学の
両方を同時に学べる!**

法学と政治学の両面から
問題の本質を捉え、
解決策を導き出す
思考力を鍛えます。

2

**学びのステップアップで
基礎から学べる!**

1年次に基礎を学び、
専門領域は2年次以降に
じっくり取り組みます。

3

**6つの多彩な
専門領域で学べる!**

法律や政策だけでなく、
ビジネス、環境、国際など
幅広く取り扱っています。

4

**ダブルコース制で
学びを深める!**

興味関心に合わせ、
メインコース(主専攻)の
他にサブコース(副専攻)も
選択できます。

5

**探究型実践プログラムで
体感しながら学べる!**

ワークショップや
フィールドワーク、
インターンシップなど、
問題の最前線で解決策を
考えられます。

6

**夢をつかむための
特修プログラムも学べる!**

法曹や公務員、
グローバルキャリアなど、
将来に向けたプログラムも
充実しています。



SOKA University

創価大学法学部 法律政治学科

〒192-8577
東京都八王子市丹木町1-236
TEL: 042-691-9476
MAIL: hogakubu@soka.ac.jp

法学部HP



公式YouTube

